

広報 なかわだ

第 352 号

2009 年 1 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 21 年 1 月 11 日

1 月の予定

教会委員会	1 月 11 日
典礼委員会	1 月 4 日
ヨゼフ会総会	1 月 18 日
信徒大会	1 月 25 日



青年、若夫婦が参加できる教会に

主任司祭 小林 陽一



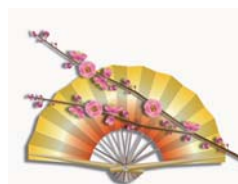
新年のお喜びを謹んで申し上げます。

2009 年の新しい第一歩が始まりました。2008 年 9 月頃からのアメリカ発の経済変動が大きくなって、日本の経済も大きく影響を受けています。こうした時、節約、無駄な買い物をしない、持てる物を生かして使う、といった生活の知恵が役立ちます。貧しい生活をするべき時、忍耐をもって謙遜に受け止めましょう。

小教区のあり方を考えますと、共同宣教司牧の理解がこれから不可欠です。真剣に真面目に取り組む時、必ず、気が付かなかった事が見えてきます。大事なことは、5～6 人の小グループで、2007 年 4 月 8 日発行の『共同宣教司牧に向けた新たな宣教司牧評議会と地区共同宣教司牧委員会』（梅村昌弘司教様の司教教書）をゆっくり、少しずつ読んで話し合ひましょう。ヨゼフ会、典礼委員会、宣教委員会、行事委員会の各グループなどが、根気よく、一回 30 分くらいの時間を取って話し合うことをお勧め致します。

共同宣教司牧についての上記の話し合いの席に、高校生以上の社会人、10 代、20 代、30 代、40 代の信者さんをお誘いし、入っていただきたい。お互いに意見は違っても、お互いの立場を理解することによって、話の理解は深くなります。

2009 年は、中和田教会の若い信者さん、20 代、30 代、40 代の皆様に教会活動に入って参加していただくことを、教会の目標に致しましょう。青年の皆様、子供の家族がおられるご夫婦の皆様のご協力をお願いいたします。



典礼こよみ (1 月)

日	曜		ミサ・勉強会	備考
4	日	主の公現(祭)	主日ミサ(9時より)	典礼委員会
9	金		初金ミサ(10時より)	
10	土		主日ミサ(18時より)	掃除 2 G (9時30分)
11	日	主の洗礼(祝)	主日ミサ(9時より)	教会委員会、成人式
17	土	聖アントニオ(記)	主日ミサ(18時より) 山崎神父様ミサ	掃除 3 G (9時30分)
18	日	年間第二主日	主日ミサ(9時より)	
24	土			掃除 4 G (9時30分)
25	日	年間第三主日	子どもと共に捧げるミサ(9時より)	信徒大会



第41回横浜教区一粒会大会、参加傍聴記

「見ては喜び、聞いては感銘し、感じては発奮し、哀しいときは優しくいよう」

大会は論争せず、決議せず、心打たれる一言は神の計らいとする、そのような大会をわたしはいつも望んでいます。それは祈りの大会なのですから。

中和田カトリック教会・一粒会 竹内 広治

今年の10月13日は体育の日即ち休日です。絶好の季節にあつての行楽日和ですから秋を楽しむ人々で、この横浜はさぞや賑わうことでしょう。

教区の一粒子大会が、キリスト教的風土ピッタリの横浜山手の女学校で、開かれましたが多数の信徒が集まり、なかなかの盛況で会場の中は喜びと、待ち望んだ期待が入り混じり、そのざわめきに刺激されてか、少し汗ばんで参りました。ほどなく落ち着いた口調の司会者の挨拶、いよいよ大会の始まりです。

この日の朝少々早めに家を出ます。久しぶりの速出とあつて気分は上々、「元町・中華街」駅を出ると、(一粒会大会案内)の看板を抱えた初老の人に迎えられました。道を尋ねると、にこやかに「この道を少し歩けば谷戸坂です。上りきれば間もなくですから、お気をつけて」時間が早いこともあり休日ながら人出はまばらです。ゆっくりと忘れかけた山手の街の風景の中を、そぞろ歩いているうちにはや会場に到着です。頼まれていた中和田のお仲間の弁当引き換え券を確実にゲット、ついでに座席も人数分をそれなりの方法でしっかり確保、やれやれこれで一安心とばかり席につき、本日久方ぶりの早起きの甲斐があつたと、充分自分を褒めてやりました。これにて本日の私の仕事は終わりとはばかり、呑気に構えていたのですが、その後追々、見知っている人、見知られている人、続々と登場、挨拶もそこそこのうちに気分はほぐれ、開会前のひととき俄か同窓会となりました。

10時30分。祈りのつどいで始めました。聖歌が歌われ会場は静まります。一粒会本部委員長の挨拶に続き、大会の祈り「司祭の召命を願う祈り」を全員で唱えます。大勢で心を合わせて唱えた祈りの響きは、うねりにも似た迫力で私達を包み、思わずその感動に痺れました。中和田教会も実行委員会の意向を受けて、ミサの共同祈願に加えて大会の祈りを一同で唱えました。皆さんのご協力を沢山頂いたことなど思い起こし、嬉しさと感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

続いて本日のメインである基調講演「司祭職に向かつて」と題されて、神学院の院長をお勤めの、平田豊彦神父がお話をなさいました。伺ったお話のポイントを整理してズラリ書き並べれば、報告となりましようが、素晴らしい内容なり、すべてなりを完全に伝えることは、私の能力からして無理であると思われまいます。幸いに後日、一粒会だより及び教区報に大会特集が組まれて、皆さんのお手元に届きましようから、じっくりお読み頂きたいと思ひます。カトリック新聞10月26日版に、横浜教区一粒会大会の記事が掲載されています。何となくその日の有様が偲ばれると思ひますが、ライブでないとい掴めない何かがあると思われまいます。何でしょうか。尻切れトンボになりました。今回はこれにて・・・。

列福式に向けての黙想と祈りを終えて

愛は決して滅びない

典礼委員 竹内 広治

「ペトロ岐部と187殉教者」の列福に当たつてと題され、カトリック新聞に殉教者に学ぶヒント紹介のシリーズを執筆された、東京教区補佐司教幸田和生師の言葉のなかから選びました。中和田教会では10月5日より、列福式が行われた11月24日まで、日本の教会の「共通の記憶」を求め訊ねる「列福をもとめ、ともに祈る7週間」を心の杖として、祈りと黙想に励んでまいりました。

8回にわたります日曜日、朝早くから教会に御越し頂いて、祈りと黙想をご一緒出来たことを、導きの神に深い感謝を捧げ、ともに歩まれた皆様方に心より敬意を表すものでございます。どうも有難うございました。

その折、併せてお願いいたしました、栄光の日に向けての「特別献金」の総額はお陰をもちまして、¥20,610円となりました。ご協力を心から感謝いたします。早速カトリック中央協議会列福献金口まで、お届けいたしましたことをご報告いたします。

なお、以前お知らせ済みかと存知ますが、この「列福をひかえ、ともに祈る7週間」としたパンフレットでございますが、列福式が終わればもはや用済みではなくて、是非、わたしたちの心の導きとして、大いにご活用頂ければと思っております。ご家庭にあつても、グループ同士であつても、ともに考えともに祈ることの手引きとして、生かされるべきと望まれております。どうぞよろしくお願ひいたします。





殉教の時代に生きた先達に思う

鶴田 恒之

188 殉教者の列福が実現した年にあたり、今年読んだ文章の中に、当時のことを考えて心に残る一文がありましたので、みなさまとを考えてみたいと思います。

慶応元年 2 月 19 日、長崎大浦に天主堂が完成して間もなくの出来事を、当時の司祭プチジャン神父が横浜のジェラルド神父に送った書簡の中に、次のような報告があります。

3 月 17 日お昼頃、14、5 人の男女連れ立ちて聖堂に来たり。見物人と異なり、なにやら様子ありげなり。直ちに門戸開きて招き入れ、神父先に立ちて祭壇の前に進む。この訪問者のために主の祈りを求めたるに、彼らの中に一人なる婦人、40 歳くらいの婦人、神父の傍らに近づき、胸に手を当てて、「われわれは師と同じ心の者なり」と言う。いたく驚き、かつ驚き、「あなた達は何処のひとりなり」と尋ねるに、「われら村はずれ浦上村の者なり。師と同じ心の者多くあり、日頃サンタ・マリアを崇めたまえり。マリアのご像何処にありや」と言う。神父驚喜して神に感謝し、「昔の信者の子孫なりや。まことに聖霊の導きなり」と、神父案内して聖母像の前に至りたるに、彼ら聖像の前にひれ伏し、心に祈念をこめていたる様子なり。やがて、喜び耐えざりしか、声をあげて、「マリアなり。見よ、手にゼゼス様抱きたもうぞ」と言い合えり。

(注：当時の文を、私なりに写したもので、文中“神父”とあるのは“師”とあり、古い文であるため判読したものです)

無学の当時の人々が、現世のご利益の餌に釣られることなく、自ら受難の道を選び、信仰に徹し、封建的な抑制下の物質的苦悩と社会束縛の中にありながら、精神的自由を得るところの解放と福音を選び取ったことを物語っています。

この世の物質文明に恵まれた社会に、どうすれば福音を伝え、信仰を伝えていくことができるのか。みなさまとを考えてみたいと思います。



12月の要理学校だより

クリスマスパーティでの聖劇・歌を終えて

毎年、恒例となりました、子どもたちによる聖劇・歌の披露も、楽しみに観てくださる皆様の温かいまなざしのもと、今回も無事に終わることができましたこと、まずはお礼申し上げます。

今回は、始めにひつじの歌とはじめの言葉が入り、とてもかわいらしく劇のスタートをきることができました。(たかひろ君、なおき君、ひでき君、はなちゃん、ありがとう！とってもよかったよ！！) 中学生になり、一段と落ち着いてきたナレーター役のかおりさん。

初出演ながら堂々と演じきったマリア役のありささん。普段のいたずらっ子はどこにいったやら、長いセリフもしっかり覚え、みごとなヨゼフ役だったティー君。念願かないガブリエル役になった まみさん。羊飼いの長として皆をまとめてくれたつきお君。

同じく初の羊飼いをがんばってくれた タンフォン君、たいち君、だいち君。天使役のとりまとめ役だった えりこさん。家で猛練習が功を奏して本番では苦手なセリフがきちんと言えた マイちゃん、ミーちゃん。女の人の役で、マリアたちに優しく声をかけてくれた かすみちゃん。博士たちのリーダーとして、よく考えながら先頭を歩いてくれた りょうた君。初の博士役に挑戦した こうき君。突然の代役だった博士役のるみさん。

(具合が悪くなって出演できなかった フィーフォン君、練習中よくがんばっていた君の次回に期待します！) 忙しい中、練習にも参加してくれて劇をひきしめてくれたヘロデ王役のゆうた君、祭司長役のたくま君、学者役のたいが君。とびいり参加ながらベテランとして安定していた町の人役のさおりさん、ちせさん、まりなさん。トーンチャイムでがんばってくれた りゅうじ君。みんな自分なりに今、できることを充分に出しきってくれたと感じています。

劇の内容はもちろんですが、本番にいたるまでの様々な出来事を、子どもたちのこれからの長い信仰生活の中で、小さな思い出のひとつとしてとどめていてくれることを、親の一人として願っています。 森脇 彰子

ありがとうございました

昨年1月より一年間、リーダーとして要理学校の子供たちやお母様方と一緒に活動してきましたが、何も分からぬまま無我夢中で突っ走ってしまいましたので、あっという間の一年でした。中和田の子供たちはとても素直で明るく、どんなことでも一生懸命積極的に取り組んでくれますので、一緒に勉強していくのがとても楽しく、おかげ様で私も有意義な時を過ごせたこと、感謝の気持ちで一杯です。

色々勉強不足で行きとどきな点、多々あった事と思いますが、お母様方はもちろんのこと、神父様、中和田教会の共同体の皆さまのご協力のおかげで何とか無事終わることができました。本当に有り難うございました。また今年も活動を続けて行きますが、2年目に入り、馴れ合いにならぬよう気を引き締めなくてはと思っています。引き続き皆さまの暖かいご支援、よろしく願いいたします。

岩 淵 洋子



委員会だより

△12月14日(日) 10名出席▽

- 審議事項
- ◆(1) 来年度予算… 甲斐さん
- ◆一般会計
- ◆オルガン購入額は150万円程度を想定し、信徒会、他の寄付も考えたい。
- ◆布教強化費、教育養成費(要理学校、中高生会)等を見直し。
- ◆水道光熱費は実績見合いで増額。
- ◆オルガンについて… 典礼Gとしては是非買いたい。とりあえず本体購入後、スピーカー設置を検討する方向で考えたい。



- ◆愛の献金
- ◆福祉グループから、バザーの半分程度18万円を各種施設、団体に献金することが提案され、了承された。
- ◆継続的寄付(4件、各2万円)
 - ◆カリタスジャパン
 - ◆ペシヤワール
 - ◆心のともしび
 - ◆旅路の里
- ◆社会福祉協議会に3万円
- ◆エリサベスサンダーホームの建設資金に3万円(一回限り)
- ◆高年齢者司祭の為の寄付に4万円
- ◆第5地区共同宣教司牧委員会報告
- ◆来年度は委員が入れ代わり継続
- ◆藤沢教会の鈴木神父が委員長、同教会の浮田教会委員長が取り纏め役となる。
- ◆(4) 大掃除… 12/20(土) 10時
- ◆(5) 防災訓練… 12/28(日) ミサ終了後に実施する。
- ◆(6) 降誕祭
- ◆子供達の聖劇を準備中。降誕祭パーティーの準備、進行に関係する責任者を明確化した。
- ◆(7) 09年度信徒大会

1/25(日)、ミサ終了後に実施。旧委員を中心に準備、運営する。詳細は1/11の委員会にて決定。

- ◆小林主任司祭より
- ◆共同宣教司牧第5地区委員会にて、藤沢教会から提案のあったブロック化を実施する方向が承認された。中和田教会は戸塚、原宿と協力していく。小林神父から、緩やかに弾力的なブロック運営を要望した。
- ◆12/21要理学校の子供達でクリスマス会を行う。
- ◆12/23泉公会堂で区民クリスマス交歓会、司会は小野委員長。
- ◆1/1聖マリアミサ。この後賀詞交歓会、司会は小野委員長。
- ◆1月第一週は行事が多いので、初金ミサは特別に1/9とする
- ◆1月の土曜日の主日ミサは第2、3土曜日とする。
- ◆成人式ミサ… 2名該当。委員会と重複するが、1/11(日)に実施する。サロンを兼ねたパーティーを考える。
- ◆09年度堅信式… 6月7日に決定。
- ◆09年1/1以降の中学生以上の信者が対象だが、対象者の明確化には皆さんの協力も頂きたい。受堅にかかわる各種準備は宣教委員会にて実施。
- ◆教会の土地の境界線の測量が必要となった。
- ◆各グループ連絡・報告事項
 - ◆a. 営繕G… トイレ改修案件
 - ◆細部工事内容の見直し変更を加え、最終見積り結果として、女子… 2,761,500円、男子… 2,152,500円、総額4,914,000円。
 - ◆まず女子トイレについて12月中旬にも契約。契約後1ヶ月で着工、工期40日。工事中は男女トイレを活用して不便をしのぐ。

09年1月委員会後記 小野委員長

■新年あけましておめでとうございませう。旧年中は教会運営に皆様の多大なご奉仕を頂き、多くの行事を滞りなく行うことが出来ました。まことに有難うございました。本年もいろいろ課題を抱えながらのスタートですが、教会の一層の活性化に向けて、皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

■1月25日には、恒例の信徒大会が開催されます。1年間の教会運営に関わる包括的な議論やお話合いの場です。是非多くの皆様のご出席を頂き、忌憚のないご意見やご要望を頂ければ幸いです。

■12月24日と25日には、ご降誕ミサが行われ、24日には恒例となった教会学校の皆さんによる聖劇、それに引き続き祝賀会が開催され、楽しい祝賀のひと時を過ごすことが出来ました。ご協力が難うございました。

■中和田教会は、今年で創立35周年を迎えます。他方、教会運営は皆様ご承知の通り、教区の指導のもとで「司祭一修道者一信徒の三位一体型運営」へと、全ての教会で変革の動きが既に始まっております。この変革には信徒各位の主體的参画が不可欠であり、皆様のご協力を重ねて宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

転出

フランシスコ 金松 義明さん
ザベリオ 礼子さん
マリア

長崎教区深堀教会へ

08年12月29日付



クリスマスミサとパーティー

2008年12月24日

